

事務事業名	中山間地域振興プロジェクト事業(農業)			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	23	終了	
H27担当課等名	農業課		H27係等名	生産振興係		H26係等名	生産振興係					
基本計画上の位置づけ	政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり									
	施策	85	中山間地域振興の推進									
目的	対象(誰・何を)	中山間地域の農家及び農業の持つ機能						指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	課題解決のに向けた新たな取り組みを支援し、事業の立ち上げへ結びつける						対象指標	農家数(農林業センサス) 人		1803	
	向上させたい上位施策の成果指標	自主的な地域活動5,500、自主的な地域づくりの参加者数200,000人							農地面積(農林業センサス 経営耕地面積) ha		2458	
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	支援した取り組みが、継続的な事業として実施されている数(累計)						3	3	3	5	
	定性目標											
事業概要	<p>人口減少が進み、地域の担い手が高齢化する中山間地域の象徴的な課題が顕在化している地区において、中山間地域振興計画に基づくプロジェクト事業を実施する。</p> <p>地域農業の課題に対して積極的に関わっている地区農業振興会議を中心に、農業改良普及センター、JA等が連携して事業を推進する。</p> <p>1 全国的にも貴重な景観と生活文化を有している「下栗地区」を重点対象地域とした厳しい生活環境の中山間地域振興のモデルとなる取り組みを行う。</p> <p>2 中山間地域の農業農村の課題解決に向けて新たな取り組みを支援し、事業の立ち上げへ結びつける。また、モデル事業として他地区への波及効果をねらう。(想定される新たな取り組み支援:都市との交流連携による農業農村の活性化、遊休農地の活用、農業特産物のブランド化、販路開拓、JA施設活用・農村景観の保全、活用など)</p>											
26年度事業内容	事業内容						名称			活動指標		
	下栗モデル支援事業 全国的にも貴重な景観と文化を有している「下栗地区」を重点対象地域とし中山間地域振興のモデルとなる取り組みを行う (1)下栗応援団による遊休農地の耕作支援 (2)モデルほ場での急傾斜畑の保全対策(土留)の実施 (3)農産物のブランド化支援 (4)農地、景観保全に対する集落合意形成の支援						応援団の数 遊休農地の活用面積 保全対策実施延長			13グループ 50a 970m		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		2,514	2,274	1,963	1,923							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		2,514	2,274	1,963	1,923							
人件費計(千円)②		358		358								
正規職員所要時間		100		100								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		2,872	2,274	2,321	1,923							
事業内容・目標達成状況の振り返り	下栗プロジェクトでは、急傾斜地に、モデルほ場を設けて間伐材を利用した土留め整備により景観保存対策を実施した。また、地元自治会の農業チームと地域内外からの応援団との取り組みにより、遊休荒廃地解消を実施した。											
改革改善の考え方	①問題点	長期的な視点を持ちながらも、急速に進んでいる人口減少と高齢化に対応するために各世帯の現状を把握しながら地域内での優先度を検討し、事業を推進していくことが必要である。「下栗の里」の認知度が急激に高まり、観光シーズンには、生活道路が渋滞するという新たな課題が発生し、その対策等に地域住民等も時間を割かれ本事業にも少なからず影響が出ている。										
	②改革提案	取組に優先順位を付けながら、進行管理を行なっていく。特に下栗の緊急性のある急傾斜畑の土留め対策及び遊休荒廃地対策について継続的に取り組む。また、地域おこし協力隊との連携事業について検討していく。										